

## はじめに

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2013-04-16 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 青山, 亨 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10232/16900">http://hdl.handle.net/10232/16900</a>

## はじめに

鹿児島大学南太平洋海域研究センターでは、センターの教官がおこなっている調査・研究の成果を社会へ広く還元するために、1988年の発足以来、毎年、夏休みを利用して公開講座を開催してきました。この講座の特徴は、センターの研究活動の特徴、すなわち、「南太平洋」という大きな主題のもとに、南太平洋および東南アジアの国々、人々、自然、技術、産業、社会にかかわる多岐多様な主題をとりあげるといふ点にあります。このため、講義にあたっては、センターの専任教官、学内兼務教官、外国人客員教官を中核として、ときには学外の協力研究者あるいは南太平洋からのお客様にも講師として参加していただきました。

このたびセンターは10年間の時限の終わりをむかえ、1997年度をもってその活動に一つの区切りをつけることとなります。私たちは、この機会を捉えて、これまでの公開講座の講義資料をそのまま眠らせることなく、センターの資産の一つとして未来に生かすことにしました。そこで、過去4年間の公開講座の講義の中から、講義録の文章としてまとめたものを選び出し、講師に改めて目を通してもらったうえで編集しなおしたのが、この講義録です。ちなみに、講義としては興味深いものであっても、出版可能な文章として講義録が用意されなかったものについては残念ながら割愛せざるをえませんでした。したがって、この講義録は過去4年間の公開講座の一部分であることをお断りしておかなければなりません。

全体の構成は、講演年次にはよらず、内容に応じて、前半を地域編、後半を主題編として、主題編はさらに自然、技術と産業、社会という細目に分けました。また、講義の雰囲気を残すために、文体の統一はあえてはからず、各講演者の持ち味を生かした体裁を残すこととしました。

関心のあるテーマを読んでいただければ、そのテーマに関する最新のまとまった知識をえることができるはずですが、公開講座という性格上、平明な内容とはなっていますが、さらに深く学びたい方のために、必要に応じて各章末に参考文献をあげてあります。また、通覧していただければ、南太平洋海域研究センターの専任教官、兼務教官の多様な学的関心と多彩な研究活動のいったんがうかがえることと思います。

最後に、本編に採録された講演者の名称と発表当時の所属は次のとおりです（五十音順）。

青山 亨（あおやま とおる）	鹿児島大学南太平洋海域研究センター
市川 洋（いちかわ ひろし）	鹿児島大学水産学部
井上晃男（いのうえ あきお）	鹿児島大学南太平洋海域研究センター
衛藤威臣（えとう たけおみ）	鹿児島大学農学部
北野元生（きたの もとお）	鹿児島大学歯学部
北村良介（きたむら りょうすけ）	鹿児島大学工学部
Ron Crocombe（ロン・クロコム）	鹿児島大学南太平洋海域研究センター客員研究員 南太平洋大学
桑原季雄（くわはら すえお）	鹿児島大学教養部（現法文学部）
櫻井仁人（さくらい まさひと）	鹿児島大学工学部
佐藤正典（さとう まさのり）	鹿児島大学理学部
土田充義（つちだ みつよし）	鹿児島大学工学部
中野和敬（なかの かずたか）	鹿児島大学南太平洋海域研究センター
西村 知（にしむら さとる）	鹿児島大学教養部（現法文学部）
根建心具（ねだち むねとも）	鹿児島大学理学部
野呂忠秀（のろ ただひで）	鹿児島大学水産学部
八田明夫（はった あきお）	鹿児島大学教育学部
松岡達郎（まつおか たつろう）	鹿児島大学水産学部

青山 亨  
鹿児島大学南太平洋海域研究センター

## PREFACE

Since its inception in 1988 it has become a tradition of the Kagoshima University Research Center for the South Pacific (KURCSP) to organize the Public Lecture series during every summer vacation. The series is aimed at contributing to the community by enriching the citizens' knowledge about the South Pacific and its surrounding regions, and also by increasing their awareness of the importance of the regions.

As the term of the KURCSP will expire by the end of March 1998, it was suggested that the lecture notes used in the series be put together so that the information gathered as well as the ideas and spirit manifested in the series will not be lost. This volume is a compilation of lecture notes selected from the Public Lecture series from 1994 to 1997. Although the texts are in Japanese, we hope the following contents in English will give the non-Japanese-speaking reader a good insight into the diverse academic fields of interest and activities of the researchers at the KURCSP as well as those affiliated with it.

Toru AOYAMA  
KURCSP

### Part 1: Countries and Peoples

Kazutaka NAKANO, KURCSP

Solomon Islands

Tatsuro MATSUOKA, Faculty of Fisheries

Papua New Guinea

Motoo KITANO, Faculty of Dentistry

Samoa

Akio INOUE, KURCSP

French Polynesia

Sueo KUWAHARA, Faculty of Law, Economics and the Humanities

Malaysia

### Part 2: Nature, Technology and Society

#### A. Nature

Munetomo NEDACHI, Faculty of Science

Pacific Ocean and its tectonics

Masahito SAKURAI, Faculty of Engineering

Deep circulation of the Pacific Ocean

Hiroshi ICHIKAWA, Faculty of Fisheries

The role of the Kuroshio in the global climate change

Ryosuke KITAMURA, Faculty of Engineering

Benefits and disasters due to activities of volcano

Masanori SATO, Faculty of Science

Great favors of tidal flats filled with marine life

Akio INOUE, KURCSP

Poisons of fish and shellfish

#### B. Technology

Satoru NISHIMURA, Faculty of Law, Economics and the Humanities

Rice farmers in the Philippines: Increasing overseas workers and consequent change in village economy

Tadahide NORO, Faculty of Fisheries

Carrageenan extracted from the seaweeds cultured in the Philippines

Mitsuyoshi TSUCHIDA, Faculty of Engineering

A historical view on wooden floor and unfloored space in Europe and Asia

Takeomi ETOH, Faculty of Agriculture

Foods made from transgenic plants

#### C. Society

Ron CROCOMBE, University of South Pacific

Asia and the Pacific Islands

Toru AOYAMA, KURCSP

The Internet and us: Virtual journey to the South Pacific